

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年2月14日 (2019.2.14)

【公開番号】特開2017-549(P2017-549A)

【公開日】平成29年1月5日 (2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2015-119499(P2015-119499)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月28日 (2018.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開閉可能に形成される前面枠と、その前面枠の前面に配設されると共に球を貯留するための貯留領域を形成する貯留部材と、その貯留部材の貯留領域へ球を流入させる流入口とを備えた遊技機において、

前記流入口側の一端から他端へ向けて球を送球し前記貯留領域へ球が流入可能な通路として前記貯留領域の前記流入口が形成される側の側面に形成され、前記一端が前記流入口の下面の側方に連なる連通路を備え、

前記貯留領域の底面が前記流入口の下面よりも下方に位置し、

前記連通路は、前記貯留領域の前記流入口側の側面を凹設した凹溝として形成され、

前記流入口の下面の前方側は、前記貯留領域の前記流入口が形成される側の側面を介して前記貯留領域の底面に連なり、前記流入口の下面の前方側から流下された球が前記貯留領域へ流下されるように形成され、

前記流入口は、前記貯留領域の一方側に位置され、前記連通路の他端は、前記貯留領域の一方側と反対側の他方側に位置され、

前記連通路の他端に連なる側面は、前記貯留領域へ向かうに従い前記連通路の一端から離間されることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

基板ボックスを備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 には、貯留部材に関する構造が開示される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、貯留領域の全体に球を分散させることが困難であるという問題点があった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、貯留領域の全体に球を分散させやすくできる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、開閉可能に形成される前面枠と、その前面枠の前面に配設されると共に球を貯留するための貯留領域を形成する貯留部材と、その貯留部材の貯留領域へ球を流入させる流入口とを備えたものであり、前記流入口側の一端から他端へ向けて球を送球し前記貯留領域へ球が流入可能な通路として前記貯留領域の前記流入口が形成される側の側面に形成され、前記一端が前記流入口の下面の側方に連なる連通路を備え、前記貯留領域の底面が前記流入口の下面よりも下方に位置し、前記連通路は、前記貯留領域の前記流入口側の側面を凹設した凹溝として形成され、前記流入口の下面の前方側は、前記貯留領域の前記流入口が形成される側の側面を介して前記貯留領域の底面に連なり、前記流入口の下面の前方側から流下された球が前記貯留領域へ流下されるように形成され、前記流入口は、前記貯留領域の一方側に位置され、前記連通路の他端は、前記貯留領域の一方側と反対側の他方側に位置され、前記連通路の他端に連なる側面は、前記貯留領域へ向かうに従い前記連通路の一端から離間される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、貯留領域の全体に球を分散させやすくすることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0010  
 【補正方法】削除  
 【補正の内容】  
 【手続補正10】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0011  
 【補正方法】削除  
 【補正の内容】  
 【手続補正11】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】1093  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【1093】

遊技機 A 1 から A 1 4 , B 1 から B 9 , C 1 から C 7、D 1 から D 5、E 1 ~ E 6、F 1 から F 1 6、G 1 から G 1 6、H 1 から H 1 0 及び I 1 から I 1 0 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 K 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

#### <その他>

パチンコ機等の遊技機において、貯留部材（例えば、下皿）の底壁部および側壁部が前後にスライド変位可能とされる構造が開示される（例えば、特許文献 1：特開 2007-136095 号公報）。

ここで、上述した従来の遊技機では、球抜き穴の配置の自由度が低下する。これに対し、本願出願人は、球抜き穴の配置の自由度を確保できる遊技機を考案した（本願出願時において未公知）。しかしながら、貯留領域の大きさを十分に拡大できないという問題点が見いだされた。

本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、貯留領域の大きさをより大きく拡大できる遊技機を提供することを目的とする。

#### <手段>

この目的を達成するために技術的特徴 1 記載の遊技機は、開閉可能に形成される前面枠と、その前面枠の前面に配設されると共に球を貯留するための貯留領域を形成する貯留部材とを備えたものであり、前記貯留部材は、底壁部と、その底壁部から立設すると共に前記前面枠に対して近接または離間する方向へ変位可能に形成される側壁部と、前記側壁部および側壁部の間に架設され、前記側壁部が前記前面枠に近接する方向へ変位されることに伴って起立されると共に前記側壁部が前記前面枠から離間する方向へ変位されることに伴って傾倒される架設部材と、を備える。

技術的特徴 2 記載の遊技機は、技術的特徴 1 記載の遊技機において、前記側壁部は、その立設方向に沿って延設される案内溝を備え、前記架設部材は、前記側壁部の案内溝に摺動可能に挿通される案内ピンを一側に備えると共に、他側が前記底壁部に回転可能に軸支される。

技術的特徴 3 記載の遊技機は、技術的特徴 2 記載の遊技機において、前記架設部材は、

最大に傾倒された状態では、前記側壁部から底壁部へ向けて下降傾斜する姿勢とされる。

< 効果 >

技術的特徴 1 記載の遊技機によれば、貯留領域の大きさをより大きく拡大できる。

技術的特徴 2 記載の遊技機によれば、構造を簡素化できる。

技術的特徴 3 記載の遊技機によれば、球が留まることを抑制できる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 0 9 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 0 9 4】

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 2 , 3 0 1 2	内枠（前面枠）
1 4	前面枠
2 0	シリンダ錠（施錠手段）
2 3	払出口（流入口、第 1 流入口）
2 3 a	下面
5 0 , 2 0 5 0 , 2 8 0 5 0 , 2 9 0 5 0 , 3 0 0 5 0	下皿（貯留部材）
5 4 , 2 0 5 4 , 2 8 0 5 4	底壁部材（底壁部）
3 0 0 5 4 h	回転補助部材
5 5 , 2 0 5 5 , 2 8 0 5 5 , 3 0 0 5 5	側壁部材（側壁部）
5 5 1 , 2 5 5 1	第 1 分割体（分割体）
5 5 2 , 2 5 5 2	第 2 分割体（分割体、第 2 迂回路）
5 5 3 , 2 5 5 3	第 3 分割体（分割体、第 2 迂回路）
5 5 4 , 2 5 5 4	第 4 分割体（分割体、第 2 迂回路）
5 5 5	第 5 分割体（分割体）
5 5 6	第 6 分割体（分割体）
5 5 7	第 7 分割体（分割体）
5 5 1 X ~ 5 5 7 X	第 1 片
2 5 5 1 X ~ 2 5 5 4 X	第 1 片
5 5 1 Y ~ 5 5 7 Y	第 2 片
2 5 5 1 Y ~ 2 5 5 4 Y	第 2 片
5 5 2 b ~ 5 5 7 b	突起部（凸部）
5 5 1 c ~ 5 5 6 c	規制溝（凹部）
2 5 5 2 b ~ 2 5 5 4 b	突起部（凸部）
2 5 5 1 c ~ 2 5 5 4 c	規制溝（凹部）
5 5 2 e ~ 5 5 7 e	第 1 水平部（水平部）
5 5 2 f ~ 5 5 7 f	立設部
5 5 2 g ~ 5 5 5 g	第 2 水平部（延設部）
5 5 2 m ~ 5 5 6 m	開口部（規定手段）
2 5 5 1 m ~ 2 5 5 4 m	開口部（規定手段）
5 5 2 n ~ 5 5 6 n	係合片（規定手段、第 1 係合爪、第 2 係合爪）
5 5 2 n 1 ~ 5 5 6 n 1	突部
2 5 5 2 n ~ 2 5 5 4 n	係合片（規定手段、第 1 係合爪、第 2 係合爪）
2 5 5 2 n 1 ~ 2 5 5 4 n 1	突部
5 5 6 r , 5 5 7 r	規制突部（規定手段）
5 5 1 S 2 , 2 5 5 1 S 2	ストッパ部（係合部、被当接部、規制手段の一部）
5 5 4 t , 5 5 5 t	係合凹部（規定手段）
2 8 0 5 5 b , 2 9 0 5 5 b	摺動溝（案内溝）
5 6 , 2 0 5 6	内壁部材

5 6 a	規制部（当接部材）
5 7 , 2 0 5 7	軸支ピン（回転軸）
2 8 0 5 9 , 2 9 0 5 9 , 3 0 0 5 9	架設部材
3 0 0 5 9 f	第 2 分割部材
3 0 0 5 9 g	第 1 分割部材
2 8 0 5 9 c	突起（案内ピン）
7 7	ロック機構（規定手段、禁止手段）
<u>1 0 0 ~ 1 0 4</u>	<u>基板ボックス</u>
3 3 0 0	第 1 迂回路（ <u>連通路</u> ）
3 4 0 0	第 2 迂回路（ <u>連通路</u> ）
4 5 0 0	第 3 迂回路（ <u>連通路</u> ）
4 6 0 0	第 4 迂回路（ <u>連通路</u> ）
3 3 1 0 ~ 4 6 1 0	転動面
3 3 1 1 , 3 4 1 1	立壁
6 7 0 0	第 5 迂回路（ <u>連通路</u> ）
6 7 1 0	転動面
6 7 1 1 , 6 7 1 2	流下部
7 0 2 5	第 6 迂回路（ <u>連通路</u> ）
8 4 0 0	第 7 迂回路（ <u>連通路</u> ）
8 4 0 0	転動面
8 8 0 0	延長迂回路（ <u>連通路</u> ）
8 8 1 0	転動面
7 0 2 3	第 2 払出口（第 2 流入口）
7 0 2 4	送球路
9 0 0 1	固定歯車（変位手段の一部）
9 0 0 2 ~ 9 0 0 4	歯車（変位手段の一部）
9 0 0 5	回転アーム（変位手段の一部）
9 0 0 6	連結アーム（変位部材）
9 0 0 6 b	係合片（当接部）
1 0 0 0 1 , 1 3 0 0 1 , 1 4 0 0 1	変位壁部
1 0 0 0 2	付勢ばね（付勢手段）
1 0 0 0 3	保持部材（保持手段）
1 2 0 0 7	張出部（変位手段の一部）
1 2 0 0 8	連結ピン（変位手段の一部）
1 2 0 0 9	摺動連動壁（変位手段の一部）
1 5 0 0 1	操作子（規制手段の一部）
1 5 0 0 2	アーム体（規制手段の一部）
1 5 0 0 2 b	係合片（規制手段の一部）
1 5 0 0 3	付勢ばね（規制手段の一部）
1 6 0 0 1 a ~ 1 6 0 0 1 d	付勢ばね（弾性体、第 2 弾性体）
1 9 0 0 1	摺動体
2 0 0 0 1	凹欠部（排出手段）
2 0 0 0 2	開口部（排出手段）
2 1 0 0 1	張出壁（送球手段）
2 2 0 0 1	第 1 張出壁（送球手段）
2 2 0 0 2	第 2 張出壁（送球手段）
2 3 0 0 1	凹溝（第 2 迂回路）
J , J 2	治具
c	受入部
S P	ねじりバネ（付勢手段）